

## 2012建設リサイクル技術発表会・技術展示会の概要

(主催) 建設副産物リサイクル広報推進会議

(後援) 国土交通省

今年度は、「建設技術展2012近畿」に併せて、「2012建設リサイクル技術発表会・技術展示会」を開催した。

### 【技術発表会】

平成24年10月31日(水) 13:00~15:00 (第1部 特別講演)

11月 1日(木) 10:00~12:00 (第2部 技術発表)

於「建設技術展2012近畿」会場(マイドームおおさか)

### ■第1部 特別講演

今年度は特別講演(第1部)として、京都大学大学院地球環境学堂の勝見武教授に「地球環境時代の建設リサイクルを考える」をテーマに、また(独)土木研究所構造物メンテナンス研究センター橋梁構造研究グループの桑原徹郎グループ長に「橋の長寿命化・CAESAR メンテナンス技術」と題して、講演をいただいた。

#### 「地球環境時代の建設リサイクルを考える」

京都大学大学院 地球環境学堂 社会基盤親和技術論分野 教授 勝見 武 氏

勝見教授からは、下記の3部構成で約1時間にわたりご講演をいただいた。

講演の概要は以下のとおりである。

#### 1) 社会資本整備ならびに建設リサイクルをとりまく状況

まず始めに持続可能な地球社会を構築していくためのコンセプトについて説明があった。続いて、建設分野でのリサイクルの取組みの変遷について説明があり、この十数年の間に建設リサイクルは飛躍的に向上したことが紹介された。



## 2) 建設リサイクル、特に発生土の有効利用に関する課題

建設発生土の有効利用には、土壌に含まれる有害物質の処理が不可欠であること、とりわけ土壌汚染対策法の改正により、自然由来の重金属も規制の対象になったことが説明され、自然由来の重金属に対する対応の難しさ、課題、対策の概要が紹介された。

また、発生土のリサイクルにおけるトレーサビリティ技術の現状について、阪神高速大和川線のシールド発生土の ETC マニフェストシステムについて紹介された。

## 3) 災害廃棄物の処理と復旧・復興に向けた取り組み

東日本大震災に伴う災害廃棄物の処理について、国土交通省、環境省の指針等について説明があり、とりわけ国土交通省が定めた公園緑地の整備と宅地造成盛土に関するガイドラインの基本的な考え方について紹介された。

また地盤工学会における災害廃棄物、放射性物質汚染土壌対応、復興のランドデザインなどのテーマに関する活動が紹介された。

### 「橋の長寿命化・CAESARメンテナンス技術」

(独) 土木研究所 構造物メンテナンス研究センター  
橋梁構造研究グループ長 桑原 徹郎 氏

桑原グループ長からは、道路橋ストックの現状と課題、並びに既設橋管理の合理化・高度化に向けた土木研究所 CAESAR の取り組みについて講演をいただいた。

## 1) 道路橋ストックの現状と課題

我が国では高度成長期に建設された橋梁が高齢化しており、米国ミネソタ州 I-35W 橋の落橋事故のような事故を起こさないためにも、橋梁の点検・補修が重要となっている。しかしながら橋梁を管理する自治体等が土木技術系職員の不足、並びに維持管理コストの増大と財源不足といった問題を抱えていて、橋梁の管理者だけでは十分な対応を行うことができない状況にある。

## 2) 既設橋管理の合理化・高度化に向けて ～土木研究所 CAESAR の取り組み～

橋梁の管理者だけでは、橋梁の点検・補修といった適正管理に十分な対応ができないことから、土木研究所では CAESAR という新たな組織を設けて、現場の支援、研究開発、情報交流の場の提供といった諸活動を展開している。





第1部特別講演 会場（多目的ホール）の様子



開会挨拶  
建設副産物リサイクル  
広報推進会議  
北橋建治 会長



開会挨拶  
建設副産物対策  
近畿地方連絡協議会  
谷本光司 委員長



来賓挨拶  
国土交通省総合政策局  
公共事業企画調整課  
光成政和 事業総括調整官

## ■第2部 技術発表

建設リサイクル技術発表会第2部として、以下の5団体の皆様より建設リサイクルや環境に関する事例報告を  
発表頂いた。

- (1) 一般社団法人泥土リサイクル協会  
高含水泥土のリサイクル  
建設汚泥ならびに浚渫土砂の高度再資源化
- (2) 奥村組土木興業株式会社  
排水性舗装混合物の100%リサイクル技術  
粗・細骨材を分離回収して再生排水性舗装混合物へリサイクル
- (3) 独立行政法人都市再生機構 西日本支社  
環境への取組みに関する広報活動  
～周辺小学校へのリサイクルスタディ実施～
- (4) ボンテラン工法研究会  
高含水比泥土リサイクルシステム『ボンテラン工法』
- (5) 株式会社竹中道路  
IH式舗装撤去工法  
IH（電磁誘導）技術により鋼床版の舗装を低騒音・省力化・  
鋼床版損傷防止して撤去



第2部技術発表 会場（橋梁模型会場）の様子



開会挨拶  
近畿地方整備局  
大塚俊介 企画部長

【技術展示会】

平成24年10月31日(水) 9:00~17:00

11月 1日(木) 9:00~16:30

於「建設技術展2012近畿」環境ブース1~11(マイドームおおさか)

以下の14団体により、環境・リサイクルに関連する展示が行われた。

環境 1	ボンテラン工法研究会 ボンテラン工法
環境 2	株式会社コトー／株式会社奥野組 万能土質改良機による建設発生土再利用システム
環境 3	株式会社竹中道路 IH式舗装撤去工法
環境 4	建設副産物リサイクル広報推進会議 建設リサイクルへの取組み
〃	建設副産物対策近畿地方連絡協議会 近畿圏域における建設副産物の計画的な利用促進
環境 5	一般社団法人泥土リサイクル協会 高含水泥土の再資源化(イーキューブシステム)
〃	UR都市機構西日本支社 環境への取組みに関する広報活動
環境 6	大阪ベントナイト事業協同組合 建設汚泥を優しく地球に還す 流動化処理土及びリサイクル石
〃	株式会社オージーロード 液状化に強いオージーロードの改良土
環境 7	東急建設株式会社 クラピア苗吹付け緑化工法
環境 8	レコサール工業会 新素材サルファーコンクリートによる環境負荷低減(CO <sub>2</sub> )と長寿命化対策
環境 9	戸田建設株式会社 TANK(戸田式アクティブ騒音制御システム)
環境 10	大林道路株式会社大阪支店 エコスムージーR
環境 11	株式会社奥村組 奥村組の水処理技術



建設リサイクル技術展示会の様子  
評論家 森田実氏が建設リサイクル技術展示会をご見学

また、①展示技術そのものの内容、②一般の方へのアピール度、③建設リサイクル・環境の観点から審査した結果、以下の2団体が優秀賞を受賞しました。

【優秀賞】

ボンテラン工法研究会

一般社団法人泥土リサイクル協会



建設副産物対策近畿地方連絡協議会の国土交通省 近畿地方整備局  
大塚企画部長より表彰状授与



ボンテラン工法研究会の展示ブース



一般社団法人泥土リサイクル協会の  
展示ブース